



大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

大阪管区气象台

企画展

昭和南海地震 80 年

地震の科学

—記録が語る過去、科学が解く仕組みと備え—

2026年

7月18(土)日  8月30(日)日

- 時 間：9:30～17:00（展示場の入場は16:30まで）
- 場 所：大阪市立科学館 展示場1階「みんなのサイエンス・ラボ」
- 観覧料：展示場観覧料でご覧いただけます。
大人 400 円／学生（高校・大学）300 円
中学生以下無料
- 主 催：大阪管区气象台、大阪市立科学館



南海トラフ地震は、静岡県沖（駿河湾）から九州沖（日向灘）にかけてのプレート境界を震源域としておよそ100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。甚大な被害が発生した昭和南海地震から、2026年で80年になるため、次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。日本は地震が多い国。地震の原理を学び、備えましょう！

関連出前講座
（小学生向け）

「どう逃げる？南海トラフ地震が起こったら」

8月6日（木）・8月14日（金）

申し込み方法等詳細は、科学館公式ホームページをご覧ください。

もし南海トラフで巨大な地震が起こったら津波からどう逃げるのか？地図を使って、みんなで一緒に考えてみましょう！

地震が起こる原因となる「断層」を感じよう！

今から約30年前の1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）は、神戸や淡路島を中心に甚大な被害をもたらしました。

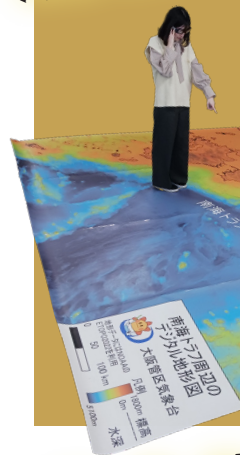
この地震を起こした原因の一つに「野島断層」があります。野島断層の断面を撮影したパネルを背景に写真を撮りましょう。



写真提供：北淡震災記念公園野島断層保存館

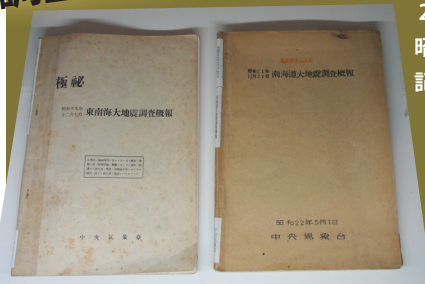
3Dメガネで南海トラフの海底地形を見てみよう！

南海トラフは、静岡県沖（駿河湾）から九州沖（日向灘）まで続く、「海の底にある大きなみぞ」です。深さは3,500m～4,000mほどあり、日本一の富士山（3,776m）が丸ごと入るくらいの深さです。3Dメガネで感じてみましょう。



南海トラフ地震の調査記録

戦争中の昭和19年12月7日と、戦後すぐの昭和21年12月21日、2年の間をおいて発生した昭和の南海トラフ地震の調査記録です。今後の地震に備えるための貴重な記録です。



震度計

震度は、地面の揺れの強さの程度を示す指標です。かつては観測者の体感や器物・建造物等の周囲の状況から観測されていましたが、震度計の導入により、地震発生から震度速報を発表するまでの時間が大幅に短縮されました。



大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1

TEL 06-6444-5656

<https://www.sci-museum.jp/>

開館時間 **9:30～17:00** 展示場観覧券の発券・入場は16:30まで
プラネタリウム最終投影は16:00から

休館日 **毎週月曜日、7/21(火)、9/1(火)** (7/20、8/10は開館)

観覧料金

	大人	学生(高校・大学)*	中学生以下
展示場《1日有効》	400円(320円)	300円(240円)	無料①
プラネタリウム《1回につき》	600円(480円)	450円(360円)	300円(240円)②

()内は30名以上の団体割引料金 *学生証の提示が必要です

①チケットカウンターで無料券をお受け取りください
②3歳以上中学生以下

*大阪市内在住の65歳以上の方(本人のみ)、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)は無料で見学できます(要証明書提示)。<プラネタリウムの無料観覧は1日1回のみです。>

*プラネタリウム投影中、静かに観覧していただけない場合は、プラネタリウムホールから退出していただきます。観覧券の返金・交換はできませんのでご了承ください。※スケジュール等を変更する場合があります。最新情報は科学館公式ホームページまたはお電話でご確認ください。

公式SNS



- Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
- 京阪電車 中之島線「渡辺橋駅」2号出口から南西へ約400m
- 阪神・JR大阪環状線「福島駅」、JR東西線「新福島駅」から南へ約1km